

ツメクサ (爪草)

名前の意味^{いみ}：葉の形が鳥の爪に似ているので、名付けられた。

分類：双子葉類、ナデシコ科、ツメクサ属

(ナデシコ科の栽培^{さいばいしょくぶつ}植物：カーネーション、カスミソウ)

好きな場所：日当たりのよい畑、庭、石畳^{いしだたみ}、舗装^{ほそう}のすきま

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴：地面から出る濃い緑色の細長い葉、小さな白い花。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数^{りべん}：離弁^{れっ}、5裂

花の時期：4－5月

食べ方：食べられない

見分け方：小さなイネ科の芽生え^{めば}とは、葉が厚くて、つやのある濃い緑色であることで区別できる。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)